

誰もが安心して暮らし、

活躍できる鹿児島を目指して

明けましておめでとうございます。

県民の皆様には、日頃から、県政の推進に多大な御理解・御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年は、5月に、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが季節性インフルエンザと同じ5類感染症に引き下げられ、ようやく社会経済が正常化に向けて動き始めました。

7月から8月にかけて開催した第47回全国高等学校総合文化祭「2023かごしま総文」では、秋篠宮皇嗣殿下並びに悠仁親王殿下の御臨席を賜り、国内外から大会に参加する高校生や観覧者等を含め、多くの方々に御来県いただきました。高校生たちが、積み重ねてきた練習の成果を発揮して躍動する姿や、長い間準備を進めてきた生徒実行委員会による心のこもったおもてなしは、多くの人に感動をもたらしました。

10月に開催した特別国民体育大会「燃ゆる感動かごしま国体」及び特別全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」では、天皇皇后両陛下をはじめ、合わせて10組の皇室の方々の御来県を賜り、観覧者の人数制限等がないコロナ禍前と同様の大会を開催することができました。大勢の観客の大声援の中で全国から集った選手が活躍する姿は、県民の皆様をはじめ全国の人々に夢と感動をもたらし、両大会が目指していた「コロナ禍からの再生と飛躍」を象徴する大会として、皆様の心に残るすばらしい大会となりました。

また、これらの大会に全国から来県された多くの皆様には、県民総参加のもと、心のこもったおもてなしでお迎えし、鹿児島の魅力を満喫していただきました。

今年はこの流れを、コロナ禍で落ち込んだ本県観光関連産業の更なる振興へとつなげていくために、世界自然遺産の屋久島、奄美大島・徳之島をはじめとする多様で豊かな自然や、和牛日本一に輝いた鹿児島黒牛をはじめとする多彩で豊富な食材、特色ある伝統・文化など、「南の宝箱 鹿児島」の魅力を発信し、更なる誘客の促進に取り組んでまいりたいと考えております。

本格的な人口減少や少子高齢化の進行、不安定な海外情勢等による物価の高騰、デジタル化の進展、カーボンニュートラルの実現など、昨今の社会経済情勢は大きく変化しております。

県としては、これらに的確に対応しつつ、本県の基幹産業である農林水産業、観光関連産業など鹿児島の「稼ぐ力」の向上、地域や各種産業を支える人材育成、結婚・妊娠・出産・子育てしやすい環境の整備や高齢者が健やかで生きがいを持てる社会の形成など、各般の施策に積極的に取り組み、「誰もが安心して暮らし、活躍できる鹿児島」を目指してまいりたいと考えております。

今後とも、「県民の皆様と一緒に鹿児島の今と未来をつくる」ということを基本として、「誠実に」、「着実に」県政の推進に全力を挙げて取り組んでまいりますので、県民の皆様の一層の御理解・御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、県民の皆様にとりまして、新しい年が輝かしく幸多い一年でありますよう、祈念申し上げます。



令和六年 元旦

鹿児島県知事 塩田 康一



霧島から望む桜島と菜の花畑(霧島市)